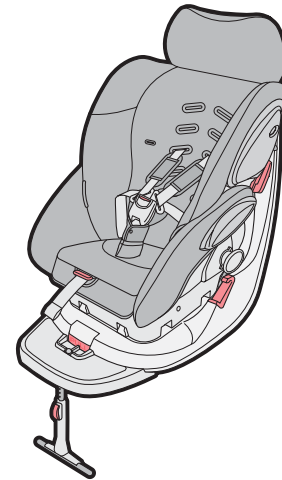
ベビー&チャイルドシート・ベッド

ユーロフィックス EC

取扱説明書／保証書

体重2.5kg以上18kg以下のお子さま用です。
自動車の3点式シートベルト装着の座席のみ使用できます。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮できず大変危険です。
また、お読みになった後は、本書を必ずベースのポケットに保管してください。

ECE（欧州安全基準）R44.04認可
準汎用型グループ0+グループ1、18kg未満。（新生児から4歳くらい）
シートの裏に貼られてある認証番号シールは剥がさないでください。

07-07
07YFEC-01

もくじ

ご使用前に 3

ご使用上の注意 9

セットアップ 13

横向きベッドで使用する 15

後ろ向きで使用する 35

前向きで使用する 45

お手入れ方法 55

保証について 58

取り付け可能車種一覧表 59

ご使用前に

ご使用前の確認

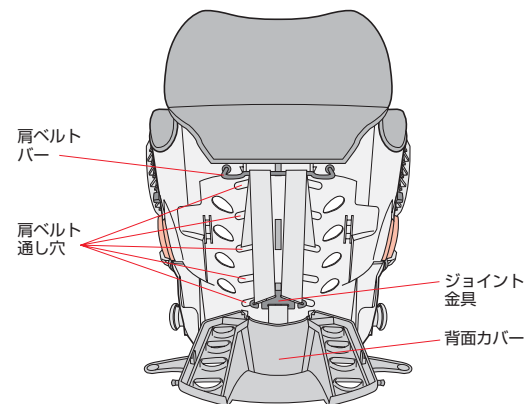
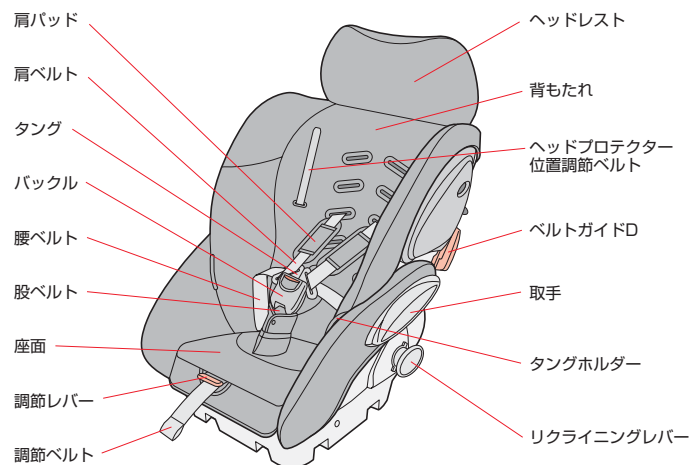
・製品を箱から取り出した後に、部品が揃っているか、破損などがないかを確認してください。
・欠品や破損など、ご確認された場合は使用を中止し、お買い上げの販売店または当社サービス係までご連絡ください。

⚠ **警告**

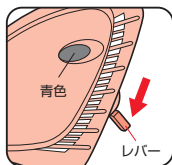
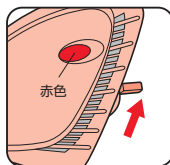
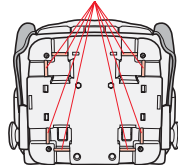
フロントエアバッグが装備された座席に取り付けないでください。
・ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
・製品を改造しないでください。また、取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
・本書をお読みになった後は、必ず本製品のポケットに本書を保管してください。

・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かり易くするため、現物とは若干異なる場合があります。

各部の名称

〈本　体〉

サイドベンチレーションレバー

・レバーを下側に倒すとシート横の通気口が開きます。

〈開〉 **〈閉〉**

着脱バー〈本体裏面〉

背面ベンチレーションレバー

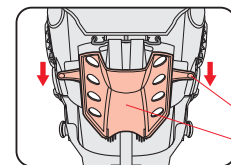
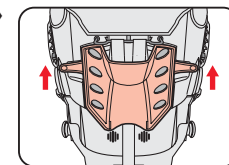
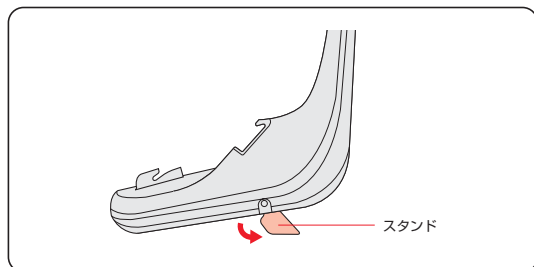
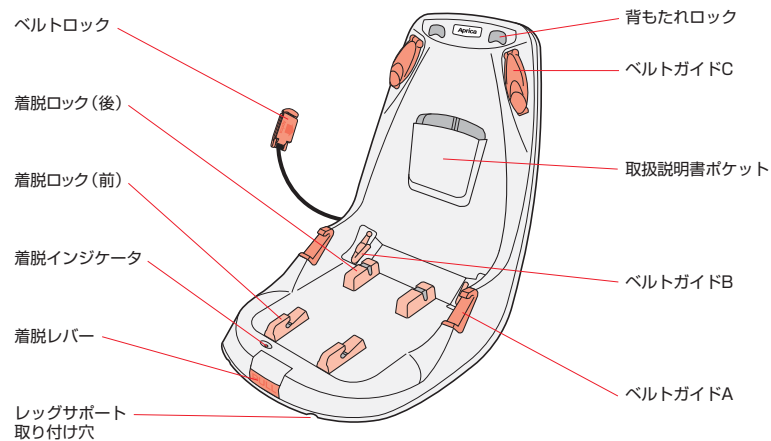
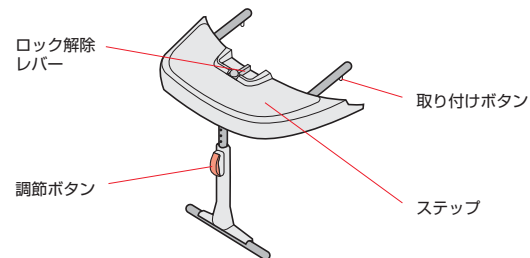
・レバーを持って背面カバーを下側にスライドさせるとシート後ろの通気口が開きます。

〈開〉 **〈閉〉**

各部の名称

〈ベース〉

ベルトロック
着脱ロック（後）
着脱ロック（前）
着脱インジケータ
着脱レバー
レッグサポート
取り付け穴
背もたれロック
ベルトガイドC
取扱説明書ポケット
ベルトガイドB
ベルトガイドA

スタンド

〈レッグサポート〉

〈マモール〉

〈付属品〉

〈重　要〉

・お客様登録カードは、当社よりリコールや自主回収などチャイルドシートに係わる重要な情報を連絡する際に必要となります。お買い上げ日より１カ月以内に投函してください。

チャイルドシートについて

・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用します。これにより、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減します。ただし、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

保護者の方へのアドバイス

・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
・長時間のドライブでは、定期的に休憩を取って、お子さまの気分転換をはかってください。

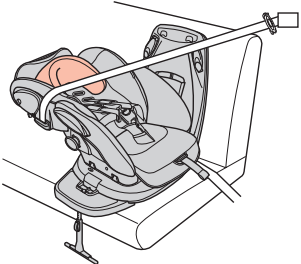
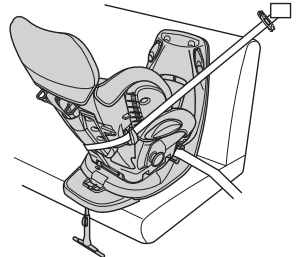
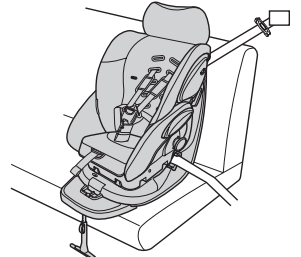
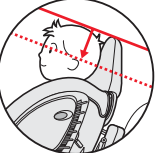
本書の表示について

・「危険」、「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表　示	表示の内容
⚠ 危 険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
⚠ 警 告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠ 注 意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。
🚫 禁 止	製品の取扱いの禁止の行為です。絶対してはいけません。

使用条件

⚠ **注意**

・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。
この条件を満たさないお子さまには事故時のダメージを軽減する効果がありません。

・お子さまの成長に合わせて、３通りの使い方があります。

横向きベッド	**体　重…2.5kg以上9kg未満**
	・あおむけに寝かせた時、肩ベルト、腰ベルトが体にフィットすること。 ・ヘッドプロテクターを使用すること。
後ろ向き	**体　重…7kg以上10kg未満**
	・首が安定し、一人すわりができること。
前向き	**体　重…9kg以上18kg以下**
	・お子さまを座らせた時、頭部重心位置（耳の上端部）がヘッドレストの上端部より下になること。

ご使用上の注意

・ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず遵守してください。

⚠ 危険

・いかなる場合にも、フロントエアバッグ装備車の助手席には本製品を取り付けない。
・本製品の肩ベルト、腰ベルトは、本書の記述に従って正しく着用する。誤った使い方や、肩ベルト、腰ベルトを着用しない状態では、絶対にお子さまを乗せない。
・本製品の乗員保護効果を最大限に高めるために、本書の記述に従って本製品を車のシートベルトで正しく取り付け、しっかりとシートに固定する。
・本製品がドアやダッシュボード、コンソールなどに接触していないことを確認する。後席に取り付ける時は、前席シートの背面が本製品に接触しないようにする。可倒式リヤシートでは、シートが確実にロックされていることを確認する。
・本体、及びベースを単体で使用しない。
・緊急時には、本製品のバックルにある赤色のPRESSボタンを押して、お子さまを迅速に救助する。
・レッグサポートをいっぱいに伸ばしても車のフロアに接しない時や、一部分だけが接する座席では使用しない。
・ヒューズボックス、小物入れ、スペアタイヤなどが座面下にある構造の座席に本製品を取り付けない。また、折りたたみ式シートにも使用しない。
・レッグサポートを取り外した状態で使用しない。
・横向きベッドでの使用を除いては、本製品を横向きで使用しない。
・本製品のバックルを外して使用しない。
・レッグサポートと車のフロアの間に、物をはさまない。
・レッグサポートの調節ボタンに触れるおそれがある物を、車のフロアに放置しない。
・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態で使用しない。
・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
・本書に記載していない方法で本製品を固定したり、お子さまを乗せない。
・車の座席のヘッドレストが取り外せる場合は、必ずヘッドレストを取り外す。

⚠ 警告

・いかなる場合も、お子さまを残して車から離れない。
・緊急時にはお子さまを素早く救助できるように、本製品のバックルは容易に解放できる構造になっています。お子さまにバックルのPRESSボタンを触れさせないように注意する。
・腰ベルトはできるだけ低い位置で、お子さまの骨盤の上に着用する。絶対にお腹に向けてベルトを締めない。
・本製品を後ろ向きで使用する時は、ベッド状態にしない。
・お子さまの足先が座面から出る場合は、ベッド状態で使用しない。
・お子さまの頭部がヘッドレストの先端部から上に出る場合は、ベッド状態で使用しない。
・本製品を横向きベッドで使用する時は、お子さまの頭が車の中央側に向くようにし、本製品が車の進行方向に対して真横を向くように取り付ける。
・本製品を固定する車のシートベルトに、ねじれや緩みがないことを確認する。また、肩ベルト、腰ベルトはお子さまの身体に合わせて正しく調節し、ねじれがない状態で使用する。
・二人以上で使用しない。
・緊急時の脱出の妨げになる座席には本製品を取り付けない。
・本製品の底面の一部分にクッションなどを敷かない。
・肩ベルトや股ベルトに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
・走行中にベルト調節、リクライニング操作などを行わない。
・取扱説明書及びチャイルドシートに記載されている以外の荷重保持接点を使用しない。

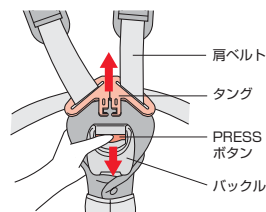
⚠注意

・直射日光にさらされると車内が非常に高温になります。直射日光が当たる場所で車から離れる時は、本製品にタオルなどをかけて、過熱しないように注意する。直射日光にさらされると、製品の寿命が縮まったり、お子さまが火傷する危険性があります。
・車内の荷物は確実に固定し、鋭利な部分がある荷物は載せない。急ブレーキや事故などの衝撃でお子さまがケガをするおそれがあります。
・本製品にお子さまを乗せていない時も、車のシートベルトで本製品をしっかりと固定してください。急ブレーキや事故などの衝撃で乗員がケガをするおそれがあります。
・本製品は、自動車用チャイルドシートとして使用することを前提に開発しています。取り外した状態で、お子さまのベッドや椅子として使用しない。
・お子さまを本製品に乗せたままで着脱操作やリクライニング操作をしない。
・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った時は、本製品を使用しない。
・本製品を車の可動式シートやドアに挟まない。
・本製品がシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
・車の座席が革仕様の場合は取り付けない。
・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
・小さなお子さまに本製品の取り付けや、操作をさせない。

🚫禁止

・本製品を分解、改造、および部品交換しない。
・事故や落下などによる強い衝撃を受けた時や、異常を発見した時は、本製品を使用しない。（肩ベルト、腰ベルトに擦り傷や摩耗、亀裂などがないか定期的に点検する。特に肩ベルト、腰ベルトの縫い目、タングやジョイント金具への取り付け部、ベルト長さを調節する部分などは念入りに点検する。）
・本製品を、シートカバーを取り外した状態で使用しない。（当社が推奨するシートカバーのみ使用すること。）。
・本製品のシートカバー内側には、衝撃吸収パッドが取り付けられています。これらのパッドは、絶対に取り外したり、他のものと交換したり、破れたまま使用しない。
・本製品を保管する時は、直射日光や風雨にさらされず、高温多湿にならない冷暗所に保管する。また、本製品の上に重い物を載せない。
・お子さまの遊び道具として使用させない。
・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。

・本製品の取り付けや取り扱いに関する不明点がありましたら、当社サービス係またはお買い上げの販売店にご相談ください。

緊急時のお子さまの降ろし方

緊急の時はあわてずに…

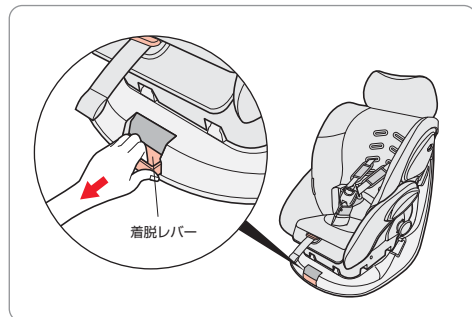
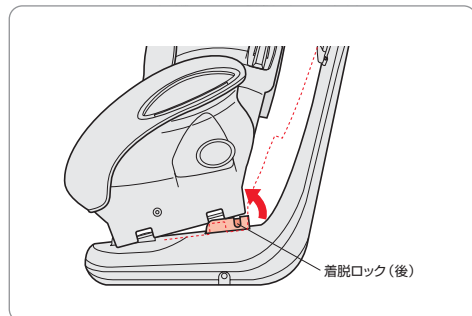
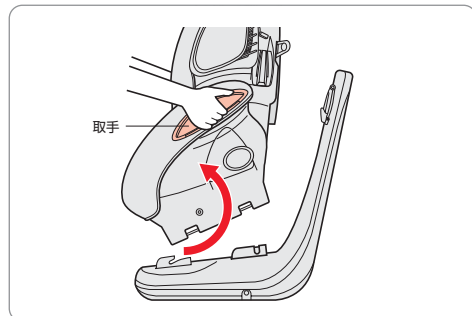
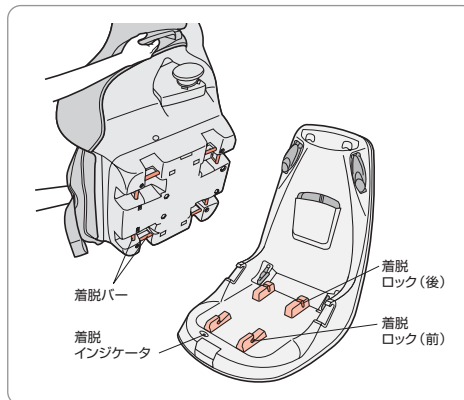
❶バックルのPRESSボタンを押し下げ、タングを外す。
❷肩ベルトをお子さまから外す。
❸お子さまを本製品から降ろす。
❹安全な場所へ避難する。

バックルからタングが抜けない時は…

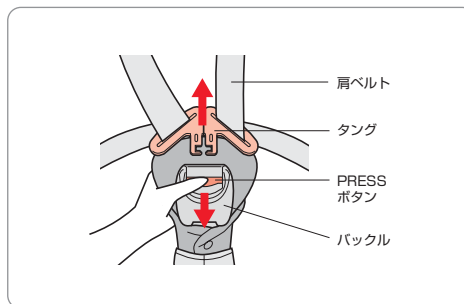
●本製品の肩ベルトをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。

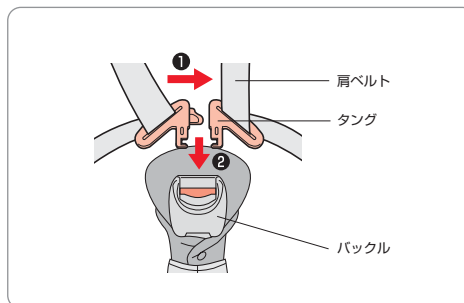
セットアップ

製品を箱から取り出して、初めてご使用になる時

本体をベースから取り外す

1 着脱レバーを手前に引きます。

2 着脱ロック（後）が外れます。

3 本体の取手を持ち、背もたれ側から持ち上げて取り外します。

4 着脱バー、着脱ロック、着脱インジケータの位置を確認します。

以降の取り付け作業で重要なチェック項目になりますので、覚えておいてください。

タングを取り外す

●バックルの PRESS ボタンを押し下げて、タングを外します。

タングを取り付ける

❶左右のタングを組み合わせます。

❷「カチッ」と音がしてバックルに固定されるまで、タングを差し込みます。

横向きベッドで使用する

体重： 2.5kg 以上 9kg 未満（参考身長： 50cm 以上 70cm 未満）
ヘッドプロテクターを必ず使用すること。

⚠ 危険

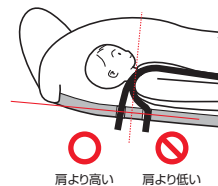
・ SRS エアーバッグが装備された座席に取り付けない。
・サイドエアーバッグ付きのリヤシートに取り付ける時は、自動車メーカーの指示に従ってください。
・ベッド状態以外で使用しない。

⚠ 警告

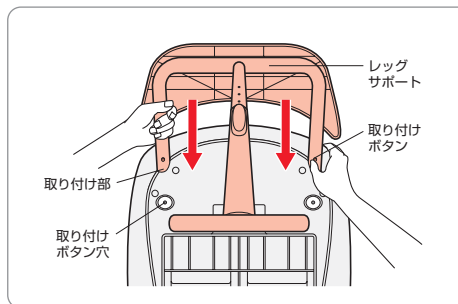
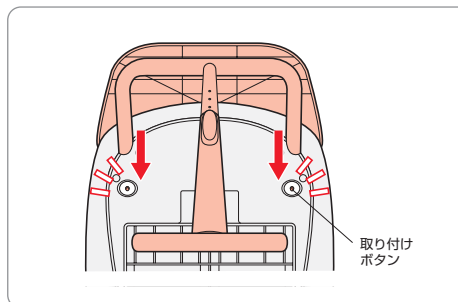
・お子さまの頭が車の外側になるように取り付けない。
・お子さまを拘束したままリクライニングを起こさない。
・お子さまの足先が座面から出る時は、横向きベッドで使用しない。

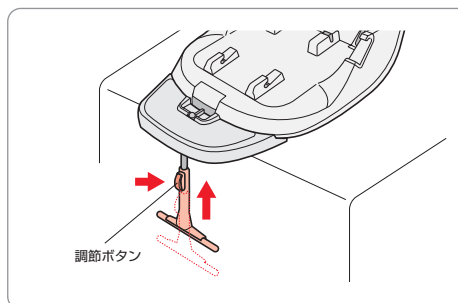
⚠ 注意

・座面が車のドアトリムなどに干渉しドアを閉めることができない場合はその座席に取り付けない。

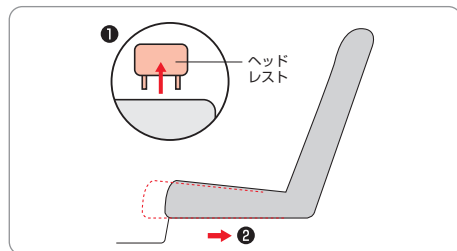
・肩ベルトの位置は、背もたれに対して直角に見て必ず、お子さまの肩よりも高い位置にしてください。
（0～5cm 以内）

・肩ベルト通し穴位置の４段目、５段目は使用できません。

レッグサポートを取り付ける

・レッグサポート取り付け部が見えるように本体を後方に倒します。

1 左右の取り付けボタンを押した状態で、レッグサポートを左右の取り付け部に同時に差し込みます。

2 取り付けボタンが取り付けボタン穴に確実に入るまで押し込みます。

・本体を起こします。

3 調節ボタンを押して、一番短くしておきます。

ベースを取り付ける

1

❶車の座席のヘッドレストが取り外せる場合は、必ずヘッドレストを取り外す。

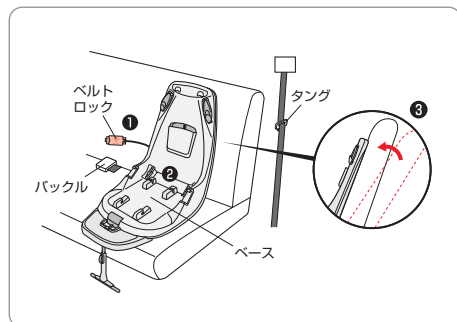
❷車の座席が前後にスライドする場合は、一番後ろの位置にする。

⚠ **危険**

・ヘッドレストを外さずに前向きに取り付けるとヘッドレストと背もたれが干渉し、背もたれロックと肩ベルトバーがロックしない場合があります。衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための性能が充分発揮できず生命に関わる重大な傷害を及ぼすおそれがあります。

⚠ **注意**

・取り外したヘッドレストをトランクルーム或いはカーゴルームに保管すること。
（万一の事故の際に取り外したヘッドレストが乗員に加害するおそれがあります。）
・チャイルドシートを外し、通常の座席として使用される場合は必ずヘッドレストを取り付けてください。

2

❶ベルトロックを座席のバックル側に引き出します。

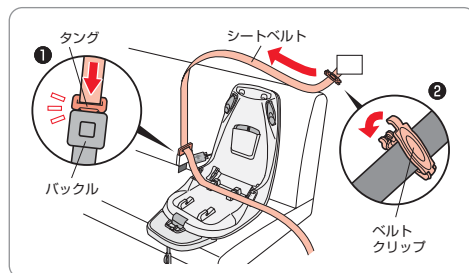
❷ベースを前向きに乗せます。

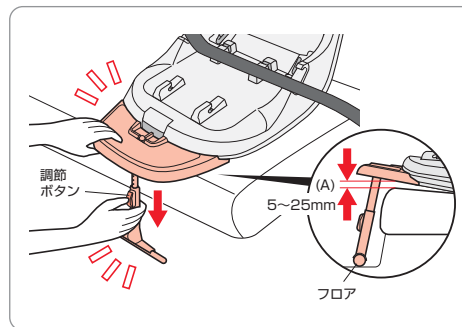
❸リクライニング付きの場合は、ベースの背面と座席背もたれの角度を合わせる。

（この時、ベース背面と座席背もたれの上下に大きな隙間の無いことを確認する。）

⚠ **注意**

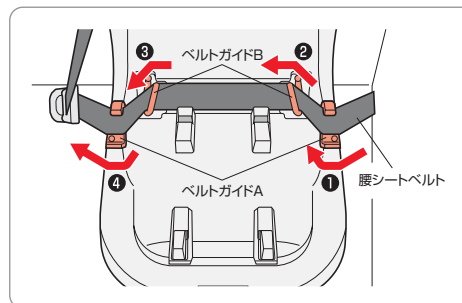
・車の座席が革仕様の場合には取り付けない。

3

❶シートベルトにねじれがないことを確認して、タングをバックルに差し込みます。

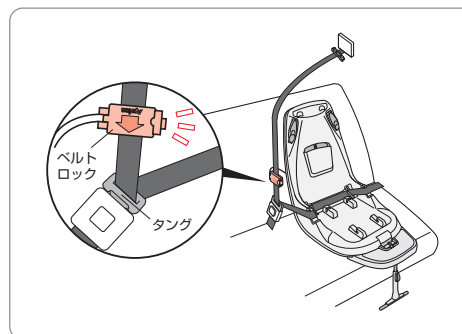
❷シートベルトを全て引き出し、ベルトクリップでシートベルトを仮止めします。

4

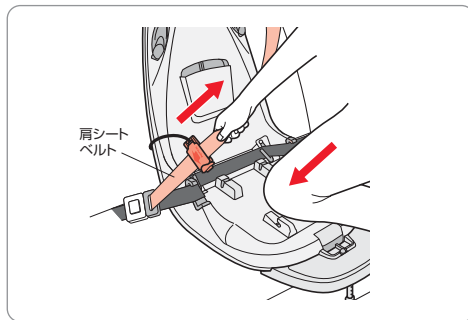
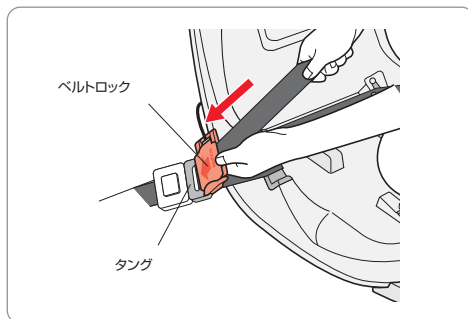
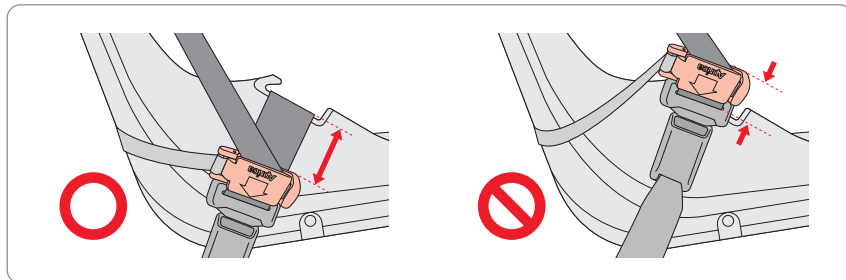
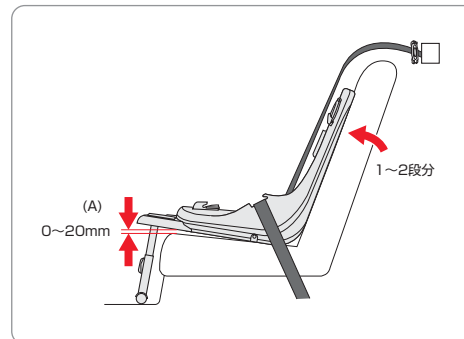
レッグサポートの調節ボタンを握り、車のフロアにレッグサポートの底面全体が接地し、安定するように調節します。

⚠ **注意**

・（A）のスキ間は 5 ～ 25mm であること。
（25mm 以上になる場合は、レッグサポートを 1 段縮めてください。）

5

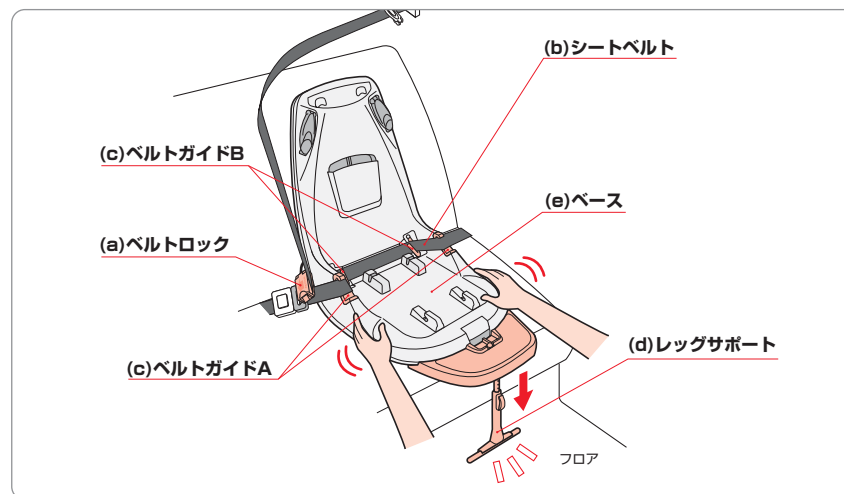
腰シートベルトを左右のベルトガイド A ・ B にねじれがないように通します。
（4 カ所）

・取り付けの際にシートベルトにシワが発生する場合があります。

6

ベルトロックの矢印をタング側に向けタングの少し上に仮止めします。

7 ベースに体重を掛け、座席に押しつけた状態で肩シートベルトを強く引き、腰シートベルトのたるみをなくします。

8 肩シートベルトを引いた状態で、ベルトロックをタングに当たるまで移動させます。

シートベルトバックルの正しい位置
シートベルトバックルの位置はチャイルドシートの安定性に影響します。
事故時に、シートベルトバックルの位置によって、本来のチャイルドシートがお子さまを守る効果が妨げられる場合があります。右図のようにシートベルトバックルがチャイルドシートの上に来る場合は、そのシートベルトまたは自動車では本製品を使用できません。
ご不明な方は、当社サービス係までお問い合わせ下さい。

9 (A)のスキ間が0～20mmであることを確認します。(20mm以上になる場合は、レッグサポートを1段縮めてください。)

⚠ **注意**

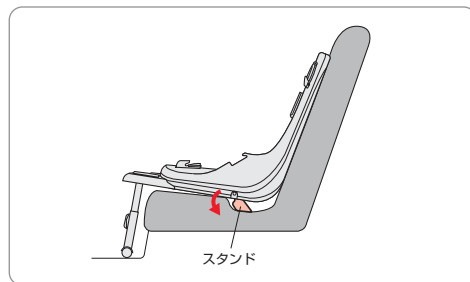
〈座席がリクライニング付きの場合〉

・ベースの取り付け完了後に、車の座席リクライニングを1～2段分手前に引き起こすとより強く取り付けることが可能になります。

☑ チェック項目

(a)ベルトロックの矢印がタングを指す方向に取り付けられ、タングに接していること。
(b)シートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
(c)左右のベルトガイドA・Bに腰シートベルトが通っていること。
(d)レッグサポートが車のフロアに接していること。
(e)ベースを両手で持ち、前後左右に動かしても安定していること。

- **(a)～(e)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度1～9の手順で取り付けを行ってください。**

ベースが安定しない時は

〈スタンドを使用する〉

●大腿部、臀部をホールドする為に凹形にくぼんだ座席など、安定しない場合は、スタンドを立てて調節します。

⚠ **注意**

・スタンドを使用してもベースが安定しない座席には、フィットスペーサーも併せて使用してください。

〈フィットスペーサーを使用する〉

●腰部をホールドするために凹形にくぼんだ座席や、座席の背もたれ角度がチャイルドシートの台座角度に合わず安定しない場合は、フィットスペーサーを台座の背面と座席背もたれの間に挟み込んで使用します。

⚠ **注意**

・スタンド及び、フィットスペーサーを使用してもベースが安定しない場合は、使用せずに当社サービス係にお問い合わせください。

ベースを車から取り外す時は

・ベルトクリップを最後に外してください。

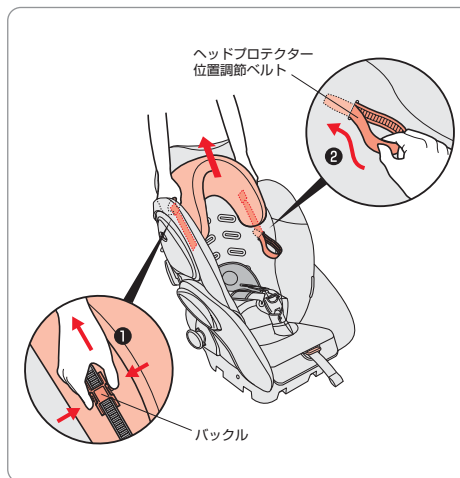
⚠ **注意**

・A-ELR（チャイルドシート固定機構）付シートベルトの場合は取り外し作業中にベルトクリップを外すと、緩んだシートベルトが全て巻き取られて取り外しが出来なくなるおそれがあります。

マモールについて

取付方法／発育状況		ヘッドプロテクター	ドーナツピロー	腰パッド
横向きベッド	新生児	必　要	必　要	必　要
	首が安定してから	必　要	取り外し可	必　要
	腰が安定してから	必　要	取り外し可	取り外し可
後ろ向き・前向き		使用不可	使用不可	使用不可

・マモールはお子さまの発育状況により上記の表を参考のうえ取り付け、取り外しを行ってください。

〈ヘッドプロテクターの取り外し方〉

❶ヘッドプロテクターの左右にあるバックルの上下のボタンを押さえた状態で、抜き取ります。

❷ヘッドプロテクター位置調節ベルトをシートの中に収納します。

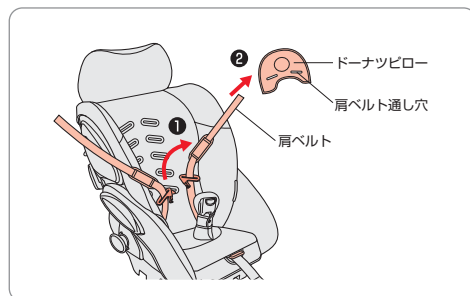
・取り外したヘッドプロテクターはビニール袋などに入れ保管してください。

〈取り付け方〉

・ヘッドプロテクターの表裏に注意して逆の手順で取り付けます。

〈ドーナツピローの取り外し方〉

❶左右の肩ベルトをジョイント金具から外し、表側から引き抜きます。

❷ドーナツピローを肩ベルトから抜き取ります。

〈取り付け方〉

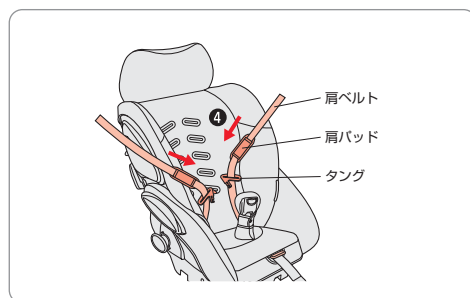
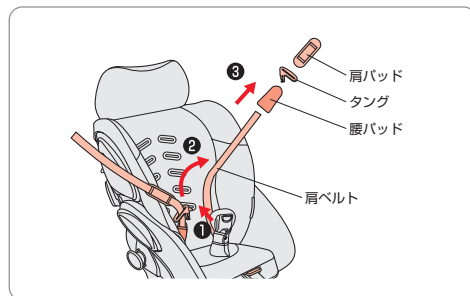
・逆の手順で取り付けます。

〈腰パッドの取り外し方〉

❶左右のタングをバックルから外します。

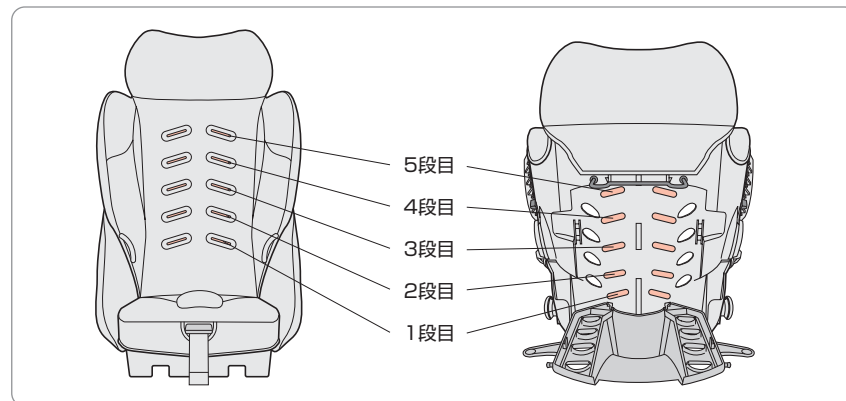
❷左右の肩ベルトをジョイント金具から外し、表側から引き抜きます。

❸肩パッド、タング、腰パッドを肩ベルトから抜き取ります。

❹タング、肩パッドを肩ベルトに戻します。

〈取り付け方〉

・逆の手順で取り付けます。

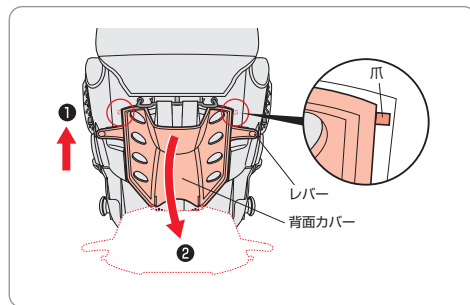
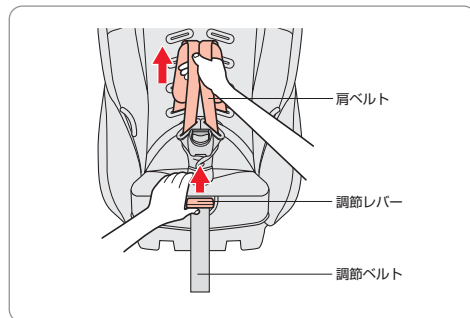
肩ベルトの位置

・参考身長はあくまで目安です。お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。

〈横向きベッド使用〉

体　重	参考身長	肩ベルト通し穴位置
2.5kg以上9kg未満	50cm位	1段目
	60cm位	2段目
	70cm位	3段目

⚠ **注意**

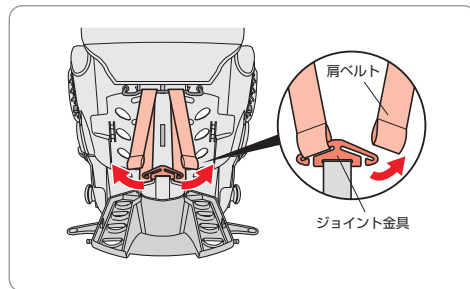
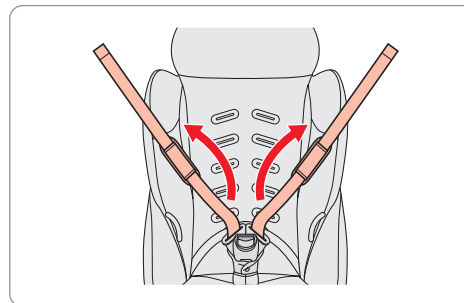
・横向きベッド時では肩ベルト通し穴の４段目、５段目は使用できません。

肩ベルトの高さを調節する

1 ❶背面カバーを上げます。

❷背面カバー中央部のくぼみを持ち、手前に開きます。

2 調節レバーを持ち上げた状態で、肩ベルトを引き出して緩めます。

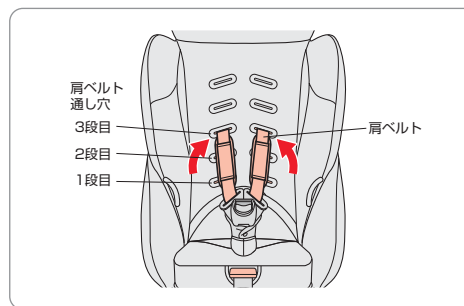
3 左右の肩ベルトをジョイント金具から外します。

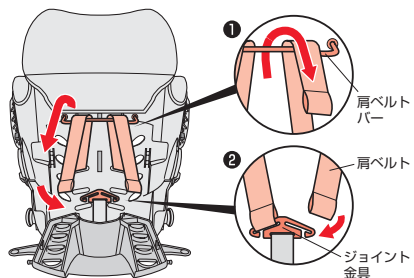
⚠ 注意

・肩ベルトを外した状態で調節ベルトを引かない。万一調節ベルトを引き込んでしまった場合は、調節レバーを上げ調節ベルトを後方に送ってください。

4 背もたれから肩ベルトを引き抜きます。

〈腰パッドを取り付ける場合〉

・タングをバックルから外し、肩パッド、タングを抜き取り、腰パッド、タング、肩パッドの順に肩ベルトに通します。（P23 参照）

〈ドーナツピローを取り付ける場合〉

・左右の肩ベルトをドーナツピローの肩ベルト通し穴に通します。（P23 参照）

5 お子さまの体格に合った肩ベルト通し穴位置に左右の肩ベルトを通します。

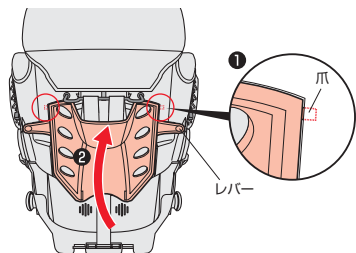
横向きベッド使用時は、１～３段目を使用します。

6

❶肩ベルトを肩ベルトバーの下から上に通します。

❷肩ベルトをジョイント金具に通します。

⚠ **注意**

・肩ベルトをジョイント金具にとめる際に、調節ベルトがねじれていないことを確認してください。

7

❶背面カバーの左右の爪を溝に合わせます。

❷背面カバー中央部を押して閉じます。

〈ヘッドプロテクターを取り付ける〉

・ヘッドプロテクター位置調節ベルトをシートから取り出し、ヘッドプロテクターのバックルを差し込み取り付けます。(P22 参照)

⚠ **注意**

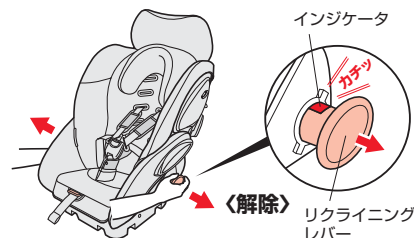
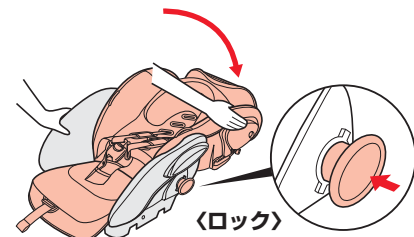
・ヘッドプロテクターは必ず使用すること。

リクライニングをベッドポジションにする

1

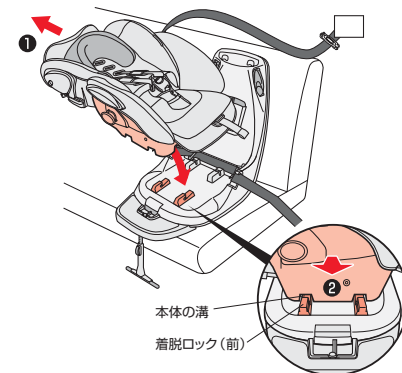
左右のリクライニングレバーを「カチッ」と止まるまで引き出します。

〈ロック〉

2

本体側部を軽く手で押さえた状態で背もたれをベッドポジションまで倒します。

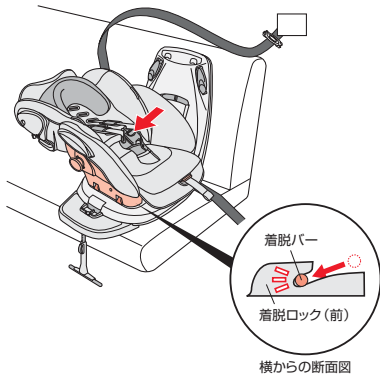
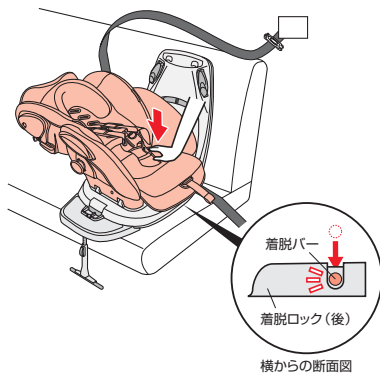
・左右のリクライニングレバーが戻り、赤色のインジケータが見えないことを確認してください。

本体を取り付ける

1

❶本体のヘッドレストを車の中央側にします。

❷本体の溝と着脱ロック（前）の位置を合わせます。

⚠ **注意**

・台座の位置に注意してください。

2 本体を手前に引き着脱バーを着脱ロック（前）に掛けます。

3 座面の後方を上から押し込み、着脱バーをロックします。

⚠ **注意**

・この時ロック音がすることを確認してください。

☑ **チェック項目**

(a)着脱インジケータ
〈青色の場合〉
取り付け完了です。

〈赤色の場合〉
正しく固定されていません。もう一度１～３の手順を行ってください。

4 ベルトガイドＤに肩シートベルトをねじれがないように通します。

⚠ **注意**

〈シートベルトが短い場合〉

・本体を取り付けるときに、肩シートベルトをくぐらせてから本体を取り付けてください。

5 ベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取り、再度ベルトクリップを取り付けます。

☑ **チェック項目**

(a)ベースをゆすりシートベルトの緩みがないこと。

取り付け後の確認

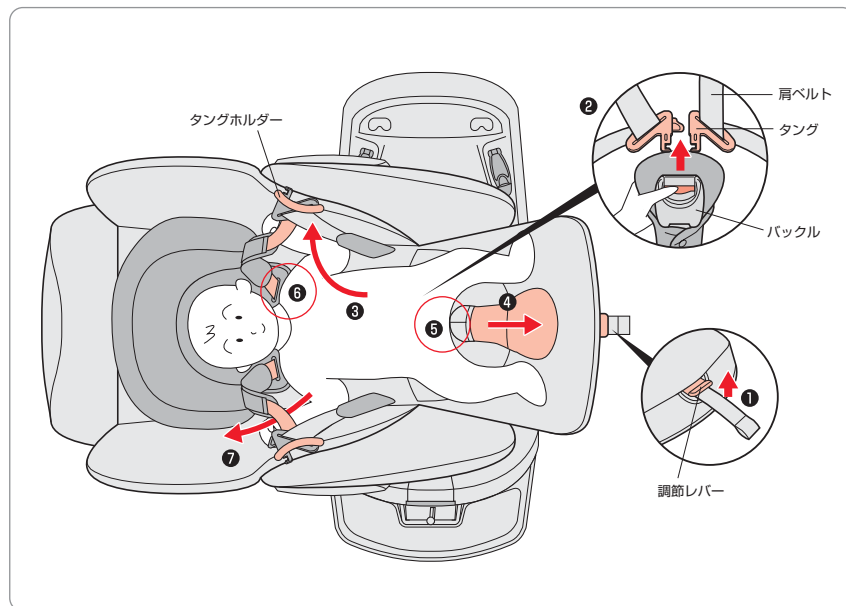
・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

☑ **チェック項目**

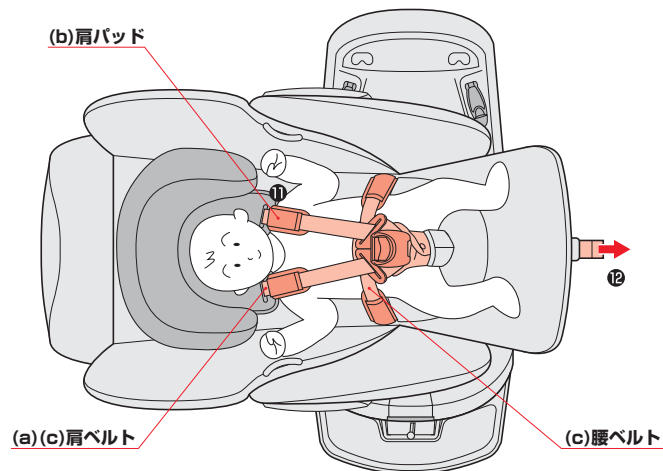
(a)車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
(b)車のシートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
(c)ベルトロックの矢印がタングを指す方向に取り付けられ、タングに接していること。
(d)車のシートベルトが左右のベルトガイドＡ・Ｂを通り、ベルトガイドＤを確実に通っていること。
(e)ベースの着脱インジケータが青色に変わっていること。
(f)本体の台座部分を両手で持ち、前後左右に動かしても安定していること。
(g)レッグサポートの調節ボタンの前にロックを解除するような物がないこと。

- **(a)～(g)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度取り付けをやり直してください。**
- 取り付けをやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社サービス係までご連絡ください。

お子さまの乗せ方

・お子さまを乗せる前にヘッドプロテクターが取り付けてあることを確認してください。

❶調節レバーを持ち上げた状態で、肩ベルトを引いて緩めます。
❷バックルのPRESSボタンを押し下げてタングを取り外します。
❸左右のタングをタングホルダーに掛けます。
❹股ベルトを前に倒します。
❺お子さまの股間と股ベルトカバーが接するように寝かせます。
❻肩ベルトが、お子さまの肩より高い肩ベルト通し穴に通っていることを確認します。
❼お子さまの手を肩ベルトの下にくぐらせます。

⚠ **警告**

・お子さまの足が座面の先端より出ないこと。

❽左右のタングを組み合わせます。
❾「カチッ」と音がしてバックルに固定されるまで、タングを差し込みます。
❿タングをバックルに差し込んだ後は、肩ベルトを引いてタングが確実にロックされていることを必ず確認してください。タングを取り外す時は、バックルのPRESSボタンを押し下げてタングを引き抜きます。
⓫肩パッドは、お子さまの肩の上にくるようにセットします。
⓬調節ベルトを引いて肩ベルトとお子さまの体の間に大人の指1本程度まで締めます。

⚠ 危険

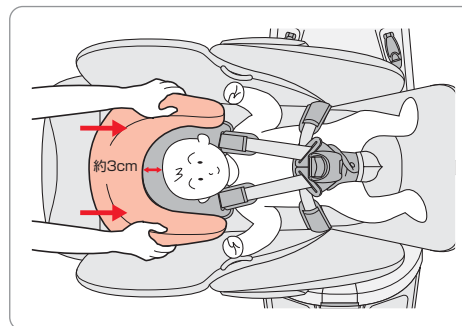
・肩ベルトを緩めた状態で使用しない。
衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための機能が充分発揮できず生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

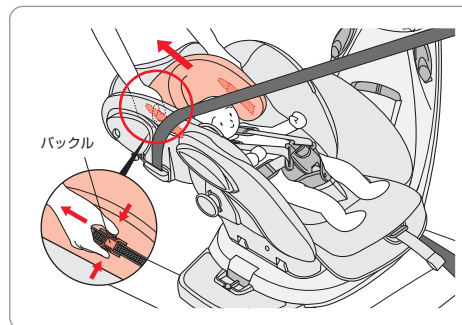
☑ チェック項目

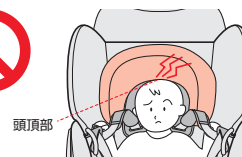
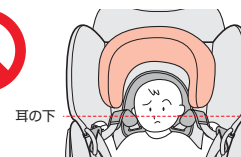
(a)肩ベルトが適切な位置を通っていること。(P15、24参照)
(b)肩パッドが肩の上にあること
(c)肩ベルトや腰ベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
・正しく着座できていない場合は、もう一度❶〜⓬の手順を行ってください。
・お子さまを乗せた後に、シートベルトに緩みが無いことを再度確認してください。

ヘッドプロテクターの位置を調節する

・横向きベッド使用時は必ずヘッドプロテクターを取り付けて使用します。
・お子さまの頭頂部とヘッドプロテクターのスキ間は、指2本程度（約3cm）離れた位置に調節します。

〈縮める時〉

●ヘッドプロテクターをヘッドレスト側から押し込みます。

〈伸ばす時〉

●ヘッドプロテクターの左右にあるバックルの上下ボタンを押さえた状態で引き伸ばします。

⚠ 警告

・お子さまの頭頂部がヘッドプロテクターに押さえられていないこと。

・ヘッドプロテクターの先端部がお子さまの耳の下より上にならないこと。

後ろ向きで使用する

体重： 7kg 以上 10kg 未満（参考身長： 70cm 以上 80cm 未満）
首が安定し、一人すわりができること。

⚠ 注意

• 後ろ向き使用時、マモールは使用しない。

⚠ 危険

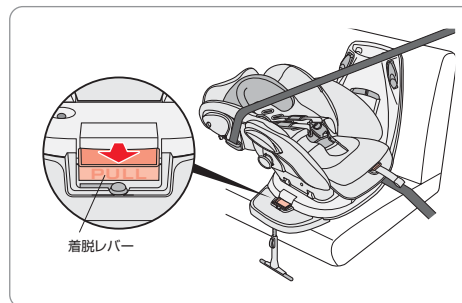
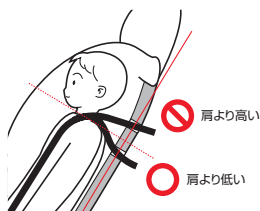
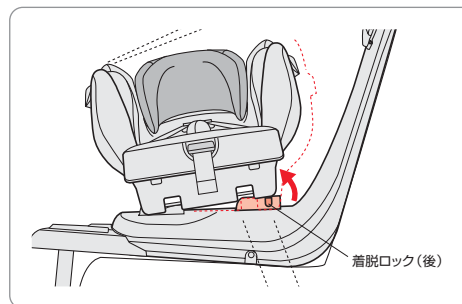
・ SRS エアーバッグが装備された座席に取り付けない。
・サイドエアーバッグ付きのリヤシートに取り付ける時は、自動車メーカーの指示に従ってください。

⚠ 警告

・後ろ向き使用時にベッドで使用しない。

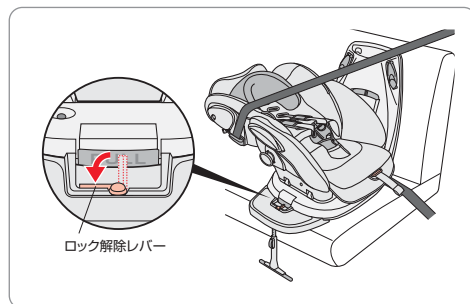
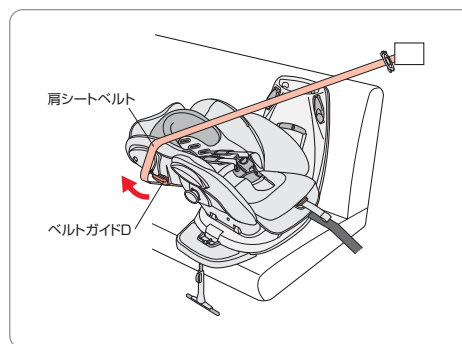
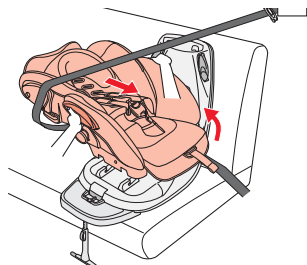
⚠ 注意

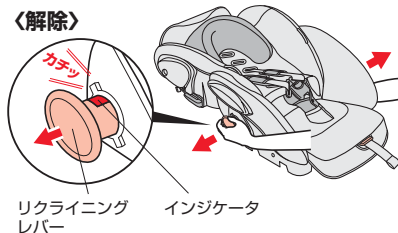
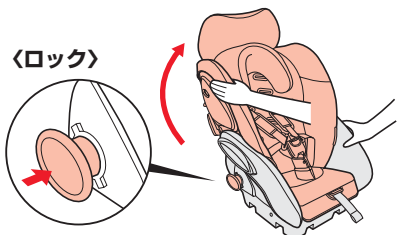
・肩ベルトの位置は、背もたれに対して直角に見て必ず、お子さまの肩よりも低い位置にしてください。（0～5cm 以内）

・肩ベルト通し穴位置の 1 段目、2 段目及び、5 段目は使用できません。

横向きベッドから後ろ向きにする

1 ロック解除レバーを手前に倒し、解除します。

2 着脱レバーを手前に引きます。

3 着脱ロック（後）が外れます。

4 肩シートベルトをベルトガイドDから外します。

5 本体の取手を持ち、背もたれ側から持ち上げて取り外します。

リクライニングをシートポジションにする

1 左右のリクライニングレバーを「カチッ」と止まるまで引き出します。

2 本体側部を軽く手で押さえた状態で背もたれをシートポジションまで起こします。

・左右のリクライニングレバーが戻り、赤色のインジケータが見えないことを確認してください。

〈ヘッドプロテクターを取り外す〉

・ヘッドプロテクターを取り外します。（P22 参照）

肩ベルトの位置

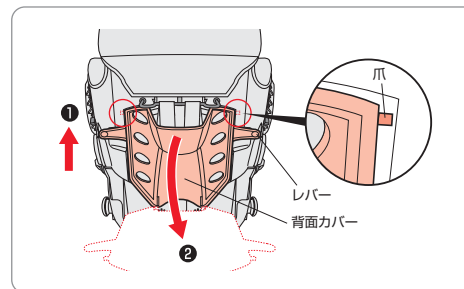
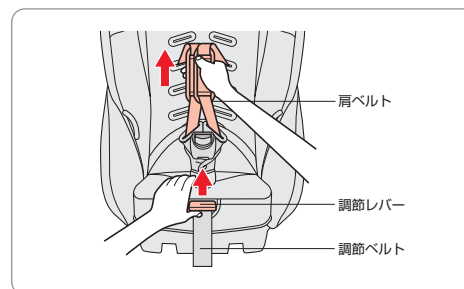
・参考身長はあくまで目安です。お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。

〈後ろ向き使用〉

体　重	参考身長	肩ベルト通し穴位置
7kg以上10kg未満	70cm位	3段目
	80cm位	4段目

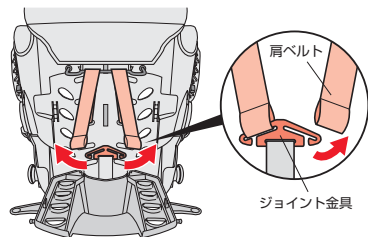
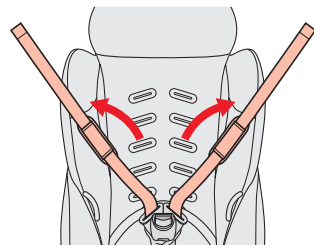
⚠ **注意**

・後ろ向き使用では、ひとり座りができないお子さまは使用できません。横向きベッド使用で使用してください。

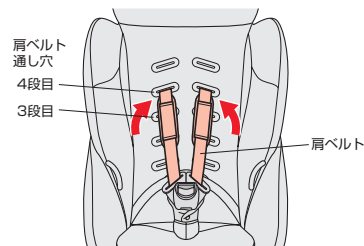
肩ベルトの高さを調節する

1 ❶背面カバーを上げます。

❷背面カバー中央部のくぼみを持ち、手前に開きます。

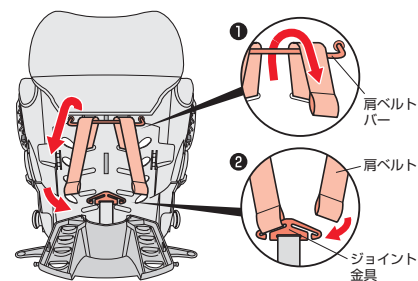
2 調節レバーを持ち上げた状態で、肩ベルトを引き出して緩めます。

3 左右の肩ベルトをジョイント金具から外します。

⚠ **注意**

・肩ベルトを外した状態で調節ベルトを引かない。万一調節ベルトを引き込んでしまった場合は、調節レバーを上げ調節ベルトを後方に送ってください。

4 背もたれから肩ベルトを引き抜きます。

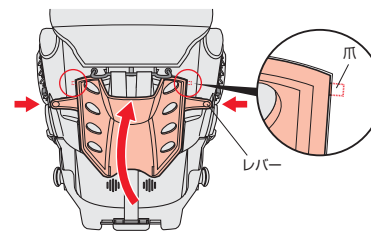
〈ドーナツピロー・腰パッドを取り外す〉

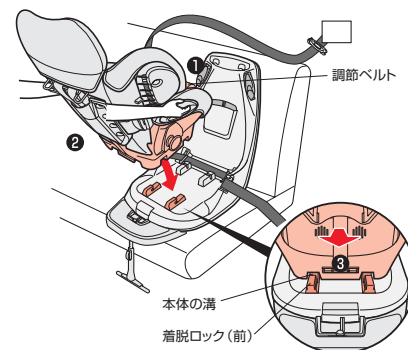
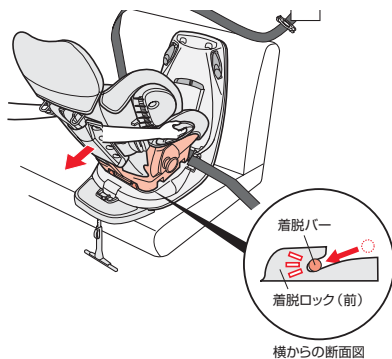
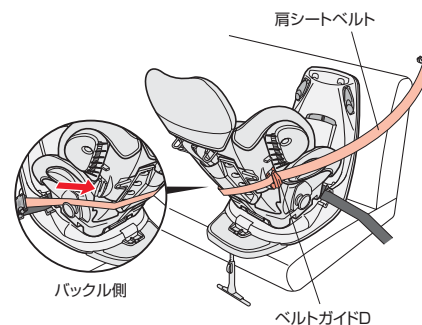
・ドーナツピロー、腰パッドを取り外します。(P23 参照)

5 お子さまの体格に合った肩ベルト通し穴位置に左右の肩ベルトを通します。

後ろ向き使用時は、3、4段目を使用します。

6 ❶肩ベルトを肩ベルトバーの下から上に通します。

❷肩ベルトをジョイント金具に通します。

⚠ **注意**

・肩ベルトをジョイント金具にとめる際に、調節ベルトがねじれていないことを確認してください。

7 背面カバーの左右の爪を溝に合わせて、背面カバー中央部を押して閉じます。

本体を取り付ける

1 ❶調節ベルトを挟み込まないように座面に上げます。

❷本体を後ろ向きにします。

❸本体の溝と着脱ロック（前）の位置を合わせます。

2 本体を手前に引き着脱バーを着脱ロック（前）に掛けます。

3 座面を上から押し込み、着脱バーをロックします。

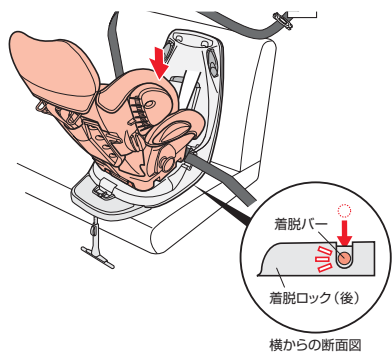
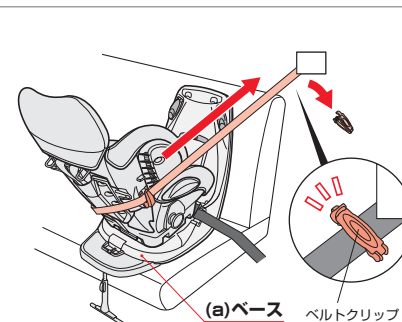
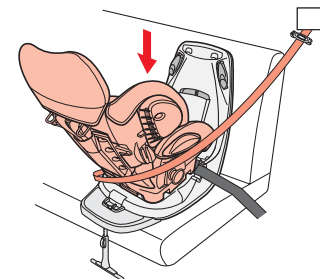
⚠ **注意**

・この時ロック音がすることを確認してください。

☑ **チェック項目**

(a)着脱インジケータ
〈青色の場合〉
取り付け完了です。

〈赤色の場合〉
正しく固定されていません。もう一度１～３の手順を行ってください。

⚠ **注意**

・チャイルドシート固定機構付シートベルトの場合は、横向きベッド → 後ろ向きへの変更は取扱説明書通りに可能ですが、後ろ向き → 横向きベッドへの変更はできません。
最初から取り付け直してください。

4 ベルトガイドＤに肩シートベルトをねじれがないように通します。

 注意

〈シートベルトが短い場合〉

・本体を取り付けるときに、肩シートベルトをくぐらせてから本体を取り付けてください。

5 ベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取り、再度ベルトクリップを取り付けます。

☑ **チェック項目**

(a)ベースをゆすりシートベルトの緩みがないこと。

取り付け後の確認

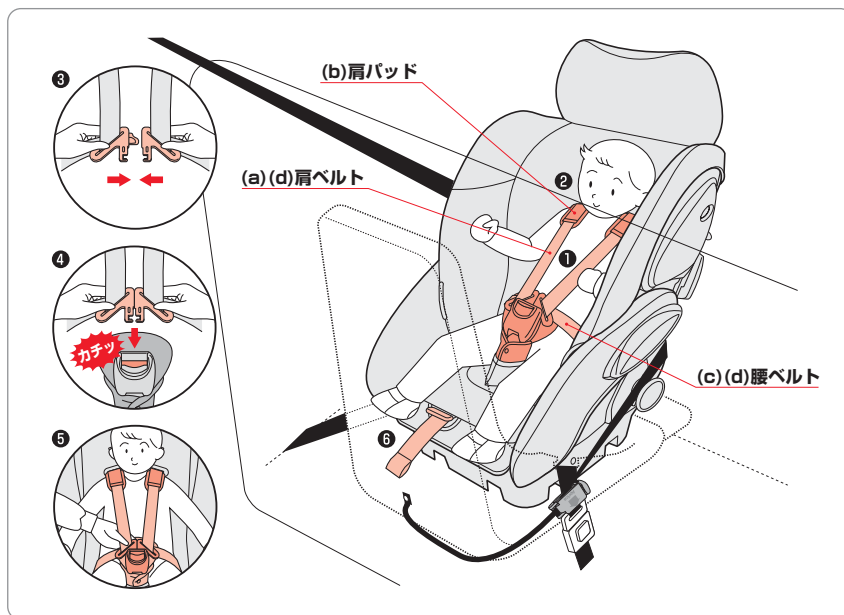
・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

☑ **チェック項目**

(a)車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
(b)車のシートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
(c)ベルトロックの矢印がタングを指す方向に取り付けられ、タングに接していること。
(d)車のシートベルトが左右のベルトガイドA・Bを通り、ベルトガイドDを確実に通っていること。
(e)ベースの着脱インジケータが青色に変わっていること。
(f)本体の台座部分を両手で持ち、前後左右に動かしても安定していること。
(g)レッグサポートの調節ボタンの前にロックを解除するような物がないこと。

- **(a)～(g)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度取り付けをやり直してください。**

・取り付けをやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社サービス係までご連絡ください。

お子さまの乗せ方

❶お子さまを座席に深く座らせます。
❷肩ベルトが、お子さまの肩より低い肩ベルト通し穴に通っていることを確認します。
❸左右のタングを組み合わせます。
❹「カチッ」と音がしてバックルに固定されるまで、タングを差し込みます。
❺タングをバックルに差し込んだ後は、肩ベルトを引いてタングが確実にロックされていることを必ず確認してください。タングを取り外す時は、バックルのPRESSボタンを押し下げてタングを引き抜きます。
❻調節ベルトを引いて肩ベルトとお子さまの体の間に大人の指1本程度まで締めます。

⚠ **危険**

・肩ベルトを緩めた状態で使用しない。
衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための機能が充分発揮できず生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

☑ **チェック項目**

(a)肩ベルトが適切な位置を通っていること。（P35、38参照）
(b)肩パッドが肩の上にあること。
(c)腰ベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。
(d)肩ベルトや腰ベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。

- **正しく着座できていない場合は、もう一度❶～❻の手順を行ってください。**
- **お子さまを乗せた後に、シートベルトに緩みが無いことを再度確認してください。**

前向きで使用する

体重：9kg 以上 18kg 以下（参考身長：75cm 以上 105cm 未満）

⚠ **注意**

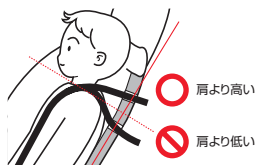
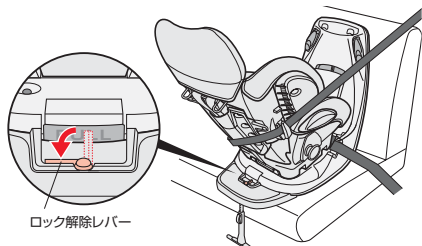
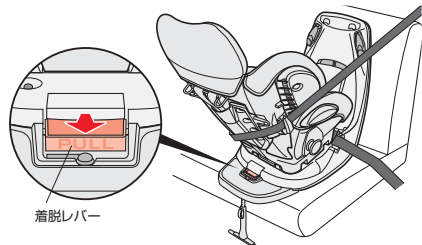
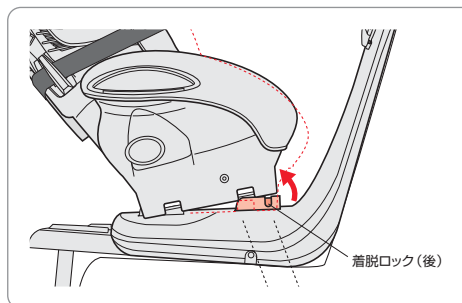
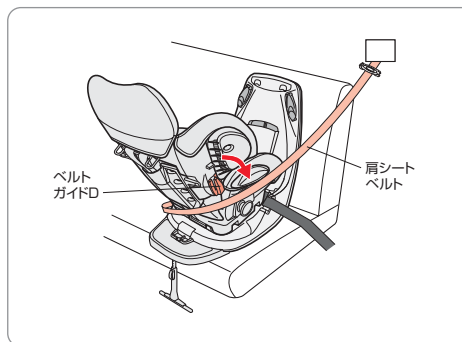
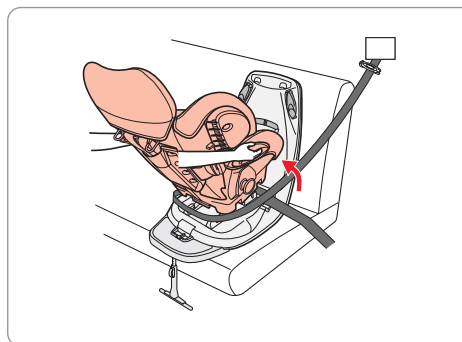
• 前向き使用時、マモールは使用しない。

⚠ **危険**

・ SRS エアーバッグが装備された座席に取り付けない。
・後ろ向きの本体をベースから取り外す際に、本体が前方に大きく傾きます。
　頭や顔にぶつかるおそれがありますのでご注意ください。

⚠ **注意**

・肩ベルトの位置は、背もたれに対して直角に見て必ず、
　お子さまの肩よりも高い位置にしてください。
　（0～5cm 以内）

・肩ベルト通し穴位置の１段目、２段目は使用できません。

後ろ向きから前向きにする

1 ロック解除レバーを手前に倒し、解除します。

2 着脱レバーを手前に引きます。

3 着脱ロック（後）が外れます。

4 肩シートベルトをベルトガイドＤから外します。

5 本体の取手を持ち、背もたれ側から持ち上げて取り外します。

肩ベルトの位置

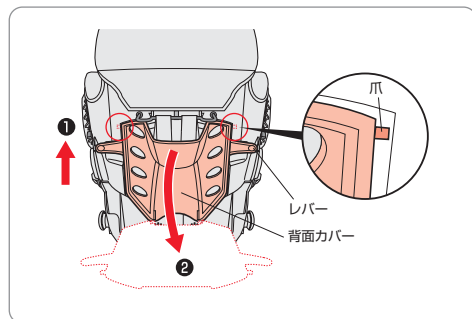
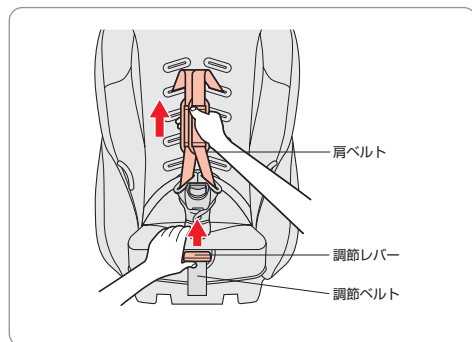
・参考身長はあくまで目安です。お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。

〈前向き使用〉

体　重	参考身長	肩ベルト通し穴位置
9kg以上18kg以下	70cm位	3段目
	80cm位	4段目
	95cm以上105cm未満	5段目

⚠ 注意

・前向き使用時では肩ベルト通し穴の１段目、２段目は使用できません。

肩ベルトの高さを調節する

1

❶背面カバーを上げます。

❷背面カバー中央部のくぼみを持ち、手前に開きます。

2

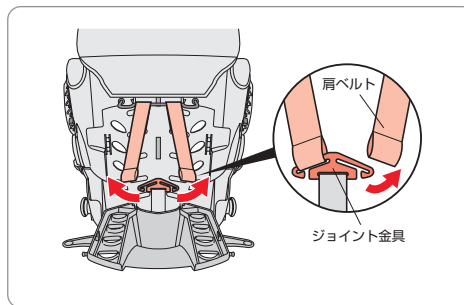
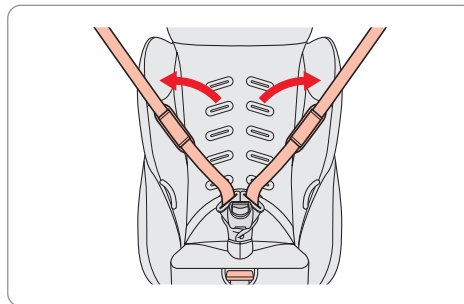
調節レバーを持ち上げた状態で、肩ベルトを引き出して緩めます。

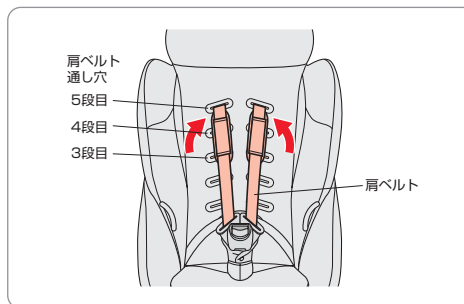
3

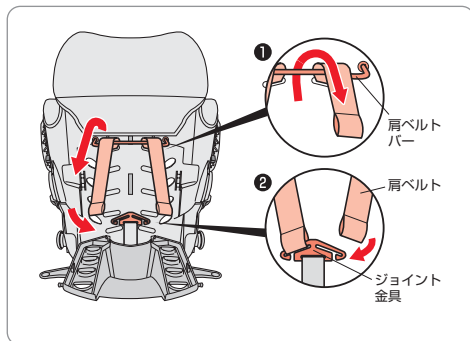
左右の肩ベルトをジョイント金具から外します。

⚠ 注意

・肩ベルトを外した状態で調節ベルトを引かない。万一調節ベルトを引き込んでしまった場合は、調節レバーを上げ調節ベルトを後方に送ってください。

4

背もたれから肩ベルトを引き抜きます。

5

お子さまの体格に合った肩ベルト通し穴位置に左右の肩ベルトを通します。

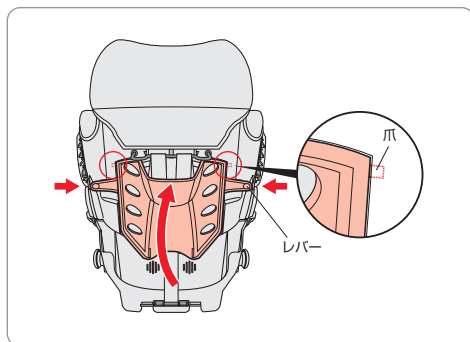
前向き使用時は、３～５段目を使用します。

6

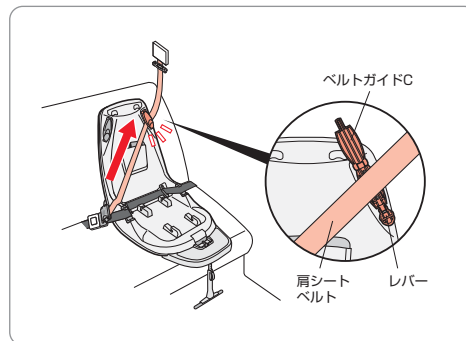
❶肩ベルトを肩ベルトバーの下から上に通します。

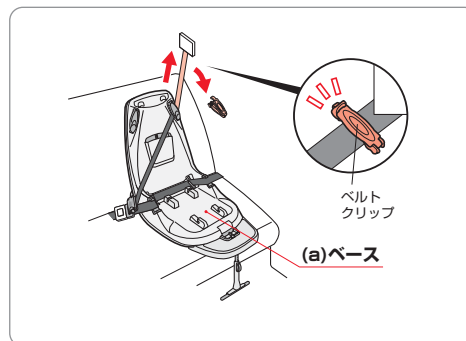
❷肩ベルトをジョイント金具に通します。

⚠ **注意**

・肩ベルトをジョイント金具にとめる際に、調節ベルトがねじれていないことを確認してください。

7

背面カバーの左右の爪を溝に合わせて、背面カバー中央部を押して閉じます。

ベースを取り付ける

1

ベルトガイドＣのレバーを開き、肩シートベルトを通してレバーを閉めます。

2

ベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取り、再度ベルトクリップを取り付けます。

☑ **チェック項目**

(a)ベースをゆすりシートベルトの緩みがないこと。

〈シートベルトに緩みがある場合〉

・ベースに体重を掛け、シートベルトを強く引き、たるみをなくしベルトロックをタングに当たるまで移動させます。（P19 参照）

⚠ **危険**

・本体及びベースを単体で使用しない。

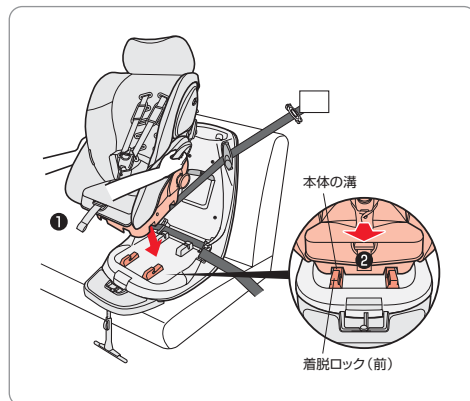
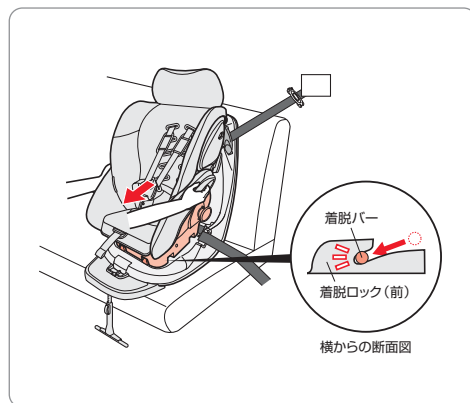
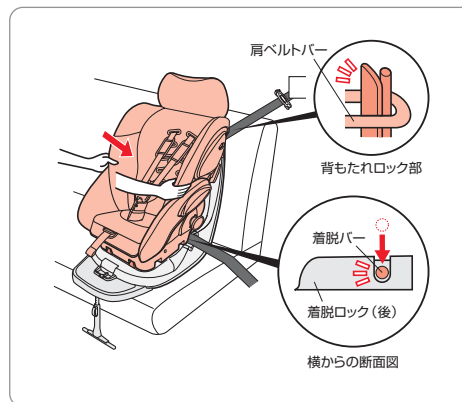
本体を取り付ける

・車の座席のヘッドレストが取り外せる場合は、ヘッドレストが取り外されていることを確認する。
（車の座席のヘッドレストとチャイルドシートの背もたれが干渉し、肩ベルトバーのロックが不完全になる場合があります。）

1

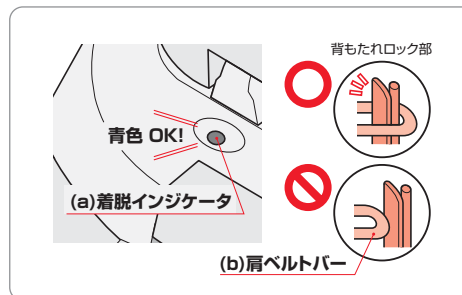
❶本体を前向きにします。

❷本体の溝と着脱ロック（前）の位置を合わせます。

2

本体を手前に引き着脱バーを着脱ロック（前）に掛けます。

3

背もたれの側部中央を両手で持ち、強く斜め下に押し込み、着脱バーと肩ベルトバーをロックさせます。
（イラストの押し手の位置と矢印の方向をご確認ください。）

⚠ **注意**

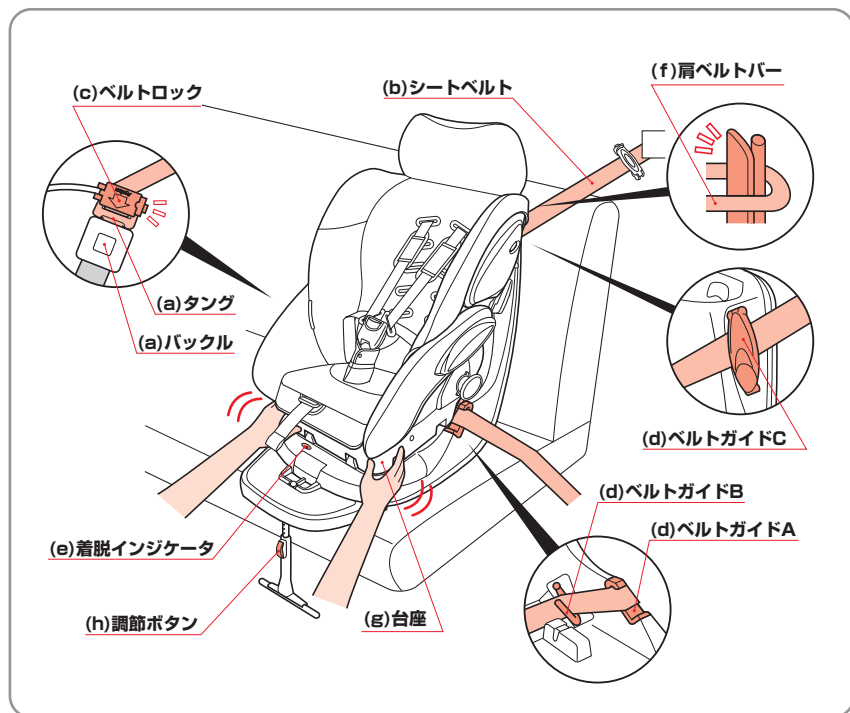
・この時ロック音がすることを確認してください。

☑ **チェック項目**

(a)着脱インジケータが青色に変わっていること。
(b)背もたれを手前に引っ張り、ベースの背もたれロックと本体の肩ベルトバーがロックされていること。
（背もたれとベースが連結せず、背もたれのみが前方へ動く場合はロックされていません。）

・着脱インジケータが赤色の場合、または肩ベルトバーがロックされていない場合は、もう一度１～３の手順をやり直してください。

⚠ **注意**

・チャイルドシート固定機構付シートベルトの場合は、後ろ向き → 前向きへの変更は取扱説明書通りに可能ですが、前向き → 横向きベッドへの変更はできません。
最初から取り付け直してください。

取り付け後の確認

・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

☑ **チェック項目**

(a)車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
(b)車のシートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
(c)ベルトロックの矢印がタングを指す方向に取り付けられ、タングに接していること。
(d)車のシートベルトが左右のベルトガイドA・Bを通り、ベルトガイドCを確実に通っていること。
(e)ベースの着脱インジケータが青色に変わっていること。
(f)背もたれロックと肩ベルトバーがロックされていること。
(g)本体の台座部分を両手で持ち、前後左右に動かしても安定していること。
(h)レッグサポートの調節ボタンの前にロックを解除するような物がないこと。

・(a)〜(h)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度取り付けをやり直してください。
・取り付けをやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社サービス係までご連絡ください。

お子さまの乗せ方

・頭部重心位置（耳の上端部）がヘッドレストの上端部より下になること。

❶お子さまを座席に深く座らせます。
❷肩ベルトが、お子さまの肩より高い肩ベルト通し穴に通っていることを確認します。
❸左右のタングを組み合わせます。
❹「カチッ」と音がしてバックルに固定されるまで、タングを差し込みます。
❺タングをバックルに差し込んだ後は、肩ベルトを引いてタングが確実にロックされていることを必ず確認してください。タングを取り外す時は、バックルのPRESSボタンを押し下げてタングを引き抜きます。
❻調節ベルトを引いて肩ベルトとお子さまの体の間に大人の指１本程度まで締めます。

⚠ **危険**

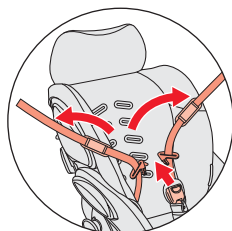
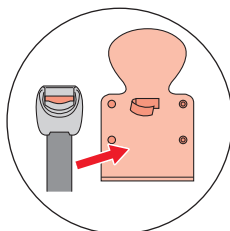
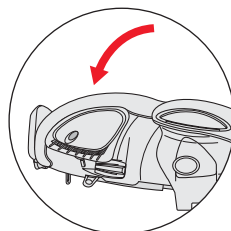
・肩ベルトを緩めた状態で使用しない。
衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための機能が充分発揮できず生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

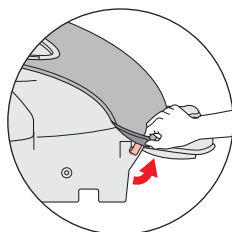
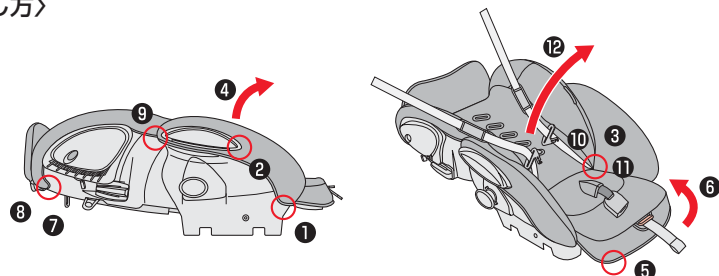
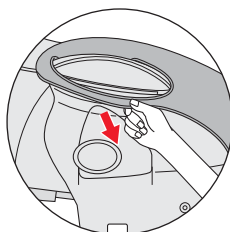
☑ **チェック項目**

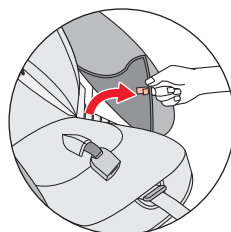
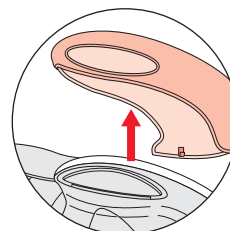
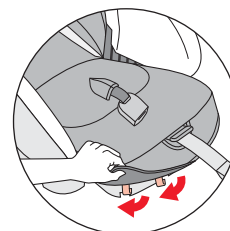
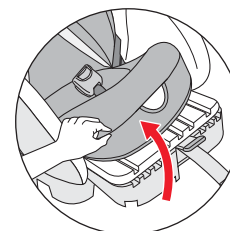
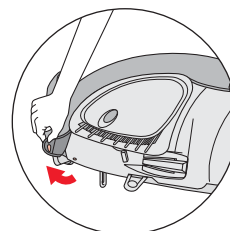
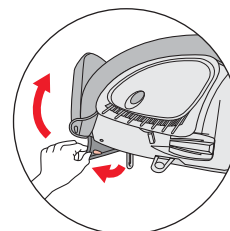
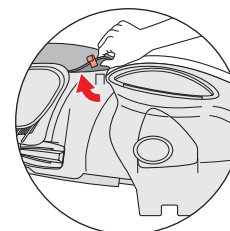
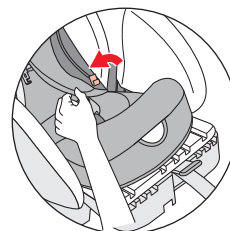
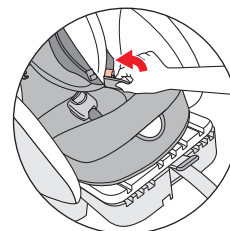
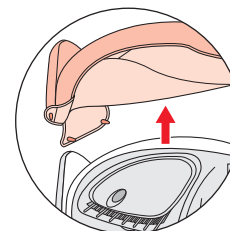
(a)肩ベルトが適切な位置を通っていること。（P45、47 参照）
(b)肩パッドが肩の上にあること。
(c)腰ベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。
(d)肩ベルトや腰ベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
・正しく着座できていない場合は、もう一度❶〜❻の手順を行ってください。
・お子さまを乗せた後に、シートベルトに緩みが無いことを再度確認してください。

お手入れ方法

シートカバーの外し方

〈準　備〉

①タングをバックルから外し、肩ベルトを引き抜きます。

②股ベルトカバーを股ベルトから外します。

③リクライニングをベッドポジションにします。

〈外し方〉

❶側面前部のフックを外します。（左右）

❷取手部のサイドシートカバーを外します。（左右）

❸側面部内側のフックを外します。（左右）

❹サイドシートカバーを取り外します。（左右）

❺座面前部４カ所のフックを外します。（左右）

❻前側から座面部をめくります。

❼背もたれ側面上部のホックを外します。（左右）

❽背もたれ中央部のホックを外しセンターシートカバーをめくります。

❾背もたれ側面中央部のフックを外します。（左右）

❿背もたれ内側下部のフックを外します。（左右）

⓫座面腰部のフックを外します。（左右）

⓬センターシートカバーを持ち上げて取り外します。

・シートカバーを取り付ける時は、逆の手順で取り付けてください。

⊘ 禁止

・クッション材を取り外したり、他のものと交換して使用しない。
・シートカバーが破れた状態や、外したままで使用しない。

シートカバーの洗濯

・シートカバーは 30 ℃以下のぬるま湯でやさしく手洗いしてください。洗濯機は使用しないでください。
・塩素系漂白剤は使用しないでください。
・洗濯後は、絞らずに干してください。
・ドライクリーニングはしないでください。
・陰干ししてください。
・アイロンがけをしないでください。

樹脂部分のお手入れ

〈ほこりなどを吸着した場合〉
・タオルなどで乾拭きしてください。

〈水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合〉
・ 40 ℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。

〈非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合〉
・中性洗剤を溶解した 40 ℃前後のお湯にスポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分をスポンジで軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。

⚠ **注意**
・本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。

保管する時は

・本体をポリ袋などに入れ、直接日光の当たらない、冷暗所に保管してください。

廃棄する時は

・事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入してください。
・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

保証について

保証期間とアフターサービス

・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえお買い上げの販売店または、当社サービス係までご連絡ください。

・保証期間中（お買い上げ日より 1 年間です。）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。
ただし、ご購入日より３年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。）修理箇所の保証期間は 1 カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後３年間です。）

当社連絡先

〈アフターサービスについての連絡先〉

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉
お客様サポートセンター **TEL 0120ー415ー814**
受付時間：AM10：00〜PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉
〒632-0221　奈良県奈良市都祁白石町1397-1
アップリカ 奈良サービスセンター　☎（0743）84-2050

製品の仕様

商品サイズ	ベッド時：W830 × D630 × H995
	起立時：W480 × D645 × H1185
商品重量	15.7 kg
材質	樹脂部：ポリプロピレン
	シートクッション：ポリウレタン発泡
	表生地：ポリエステル

取り付け可能車種一覧表

- このチャイルド シートは準汎用型であり、以下に記したシートポジションをもつ車種に適用します：
- 本装置は、認可された車両が UN/ECE 規制 No.16 または同等の基準で認可された~~ラップ~~／３点式／~~静的~~／リトラクター付き安全ベルトを装備している場合のみに適用しています。
- このチャイルド シートは後部座席の左もしくは右側にのみ設置できます。それ以外の座席には設置できません。
- このチャイルド シートは革仕様の座席に使用できません。

記号凡例

記号	説明
◎	取り付けできます
○１	台座付属のスタンドを立ててお取り付け下さい。
△５	シートベルトを車輌内側から外側にかけるシートでは、シートベルトの出位置のずれにより取り付け後もゆるんでくるため、お取付けできません。また構造上、ベッドでのお取付けもできません。
※１	リクライニング・シートスライドなどを使用する事でお取付けが簡単になります。
※２	後向き時、前席が狭くなります。ご了承ください。
※６	ただしリア床下工具ボックスのある助手席側ではお取付けできません。
※７	ただし助手席側後席フロアアンダーボックスのある座席ではお取付けできません。またレッグサポートが床の平らな部分で接地するようにシートスライドを調整してお取付けください。
※９	ただし助手席側後席フロアボックスのある座席ではお取付けできません。
※１２	ベッド時のドア干渉回避のため車輌シートアレンジは中央席を外し、サイド席を中央側によせてお取付けください。
※１６	ただし「Stow'n Go(２列・３列目床下収納シート)」を採用している場合はお取付けできません。
※１７	ベッド時にチャイルドシート本体が車両側ドアやタイヤハウスなどに干渉する事がございますが、ご使用いただいても問題ありません。
×１	ベッドタイプ：シートベルトが短すぎるため、ベッドでご使用になれません。
×２	レッグサポートが適正な長さで使用できない為お取り付けできません。
×４	バックル側ベルトが長すぎるためお取り付けできません。
×５	補助席のためお取付けできません。
×６	車輌のリアシートアンダーボックスのためお取付けできません
×１１	後部座席にチャイルドシートを取り付けるスペースがなくお取付けできません。
×１２	取り付け後、２列目が固定できなくなるためお取付けできません。
×１５	シートベルト収納方式が特殊なため、ベッド時にドアが閉まりません。
×１６	後部座席がないためお取付けできません
×１８	ベッド時に中央コンソールに干渉するためお取付けできません。
×２１	一部しかレッグサポートが接地しないためお取付けできません。
×２２	車輌側の「リアフロアーの小物入れ」のためお取付けできません。
×２３	シートベルトを車輌内側から外側にかけるシートでは構造上、ベッドでのお取付けができません。
×２５	車両側シートベルト取り付け幅が極端に大きいためお取付けできません。

メーカー名	車種名	年式	型式	調査座席	適合情報
トヨタ	アイシス	H16／9～	ANM10、ANM15、ZNM10G	2列目サイド	◎、※１、※９
				3列目サイド	×２
	アルファード	H14／5～	MNH1＃W系	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎
	イスト	H13／1～	NCP6#	後部サイド	◎
	イプサム7人乗り	H13／5～	CM2#系	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎、※１
	ウィッシュ	H15／1～	ZNE1#系	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎、※１
	ヴィッツ	H17／2～	NCP9#系,SCP9#系	後部サイド	◎
	ヴォクシー／ノア	H13／11～	R6#系	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎、※１
	エスティマ7人乗り	H18／1～	GSR50W	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎、※１
	エスティマ8人乗り	H18／1～	GSR50W	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎、※１
	カローラ	H18／10～	ZRE142、NZE141	後部サイド	◎
	カローラスパシオ7人乗り	H13／5～	12#N系	2列目サイド	×６
				3列目サイド	×５
	カローラフィールダー	H18／10～	ZRE142G、NZE141G、ZRE144G、NZE144G	後部サイド	◎
	クラウンアスリートワゴン	H15／12～	S12系	後部サイド	◎
	クラウンセダン	H15／12～	S12系	後部サイド	◎
	クラウンマジェスタ	H16／1～	UZS186、187	後部サイド	◎
	クラウンロイヤル	H15／12～	S18系	後部サイド	◎
	シエンタ	H15／10～	NCP81G	2列目サイド	×６
				3列目サイド	×１
	パッソ	H16／6～	QNC10,KGC10,15	後部サイド	◎、※１７
	ハリアー	H15／1～	MCU3#系	後部サイド	◎
	プリウス	H15／9～	NHW2#系	後部サイド	◎
	ポルテ	H16／8～	NNP10,NNP11	後部サイド	×１
	マークX	H16／11～	GRX12#系	後部サイド	◎
	ラクティス	H17／10～	NCP10、SCP10	後部サイド	◎
	ランドクルーザープラドロング	H14／10～	J12#W系	2列目サイド	◎
				3列目サイド	×２
	bB	H18／1～	QNC2#系	後部サイド	◎
	RAV4	H17／11～	ACA31W、ACA36W	後部サイド	◎、※１
ニッサン	ウイングロード	H17／11～	Y12、JY12、NY12	後部サイド	◎、※１
	エルグランド7人乗り	H14／5～	E51系	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	×２５
	エルグランド8人乗り	H14／5～	E51系	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	×２５
	キューブ	H14／10～	Z11系	後部サイド	×６
	キューブキュービック	H15／9～	BGZ11	2列目サイド	×６
				3列目サイド	×１２
	シーマ	H13／1～	F50系	後部サイド	◎
	スカイライン4ドア	H13／6～	V35系	後部サイド	◎

メーカー名	車種名	年式	型式	調査座席	適合情報
ニッサン	セレナ8人乗り	H17／5～	C25、NC25	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎、※１
	ティアナ	H15／2～	J31系	後部サイド	◎
	ティーダ	H16／9～	HR15DE	後部サイド	◎
	ティーダラティオ	H16／11～	HR15DE	後部サイド	◎
	ノート	H17／2～	E11,NE11	後部サイド	◎
	フーガ	H16／11～	PY50、Y50	後部サイド	◎
	マーチ	H14／3～	K12系	後部サイド	◎
	ムラーノ	H16／9～	VQ35DE、QR25DE	後部サイド	◎
	モコ	H14／4～	MG21S	後部サイド	◎
	ラフェスタ	H16／12～	B30　NB30	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎
ホンダ	アコード　ワゴン	H14／11～	CM	後部サイド	◎
	インスパイア	H15／5～	UC1	後部サイド	◎
	エアウェイブ	H17／4～	GJ1～2	後部サイド	◎
	エディックス	H16／7～	BE1,2,3,4	後部サイド	◎、※１７
	エリシオン	H16／5～	RR1,2	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎
	オデッセイ7人乗り	H15／10～	RB1,2系	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎
	ザッツ	H14／10～	JD1,2	後部サイド	◎、※１
	シビック4ドア／シビックハイブリッド	H17／9～	FD1、FD3	後部サイド	◎
	ステップワゴン	H17／5～	RG1、2	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎、※１
	ストリーム	H18／7～	RN6～9	2列目サイド	◎
				3列目サイド	×１５
	ゼスト	H18／3～	JE1、JE2	後部サイド	◎
	フィット	H13／6～	GD1,2系	後部サイド	◎
	モビリオ	H13／12～	GB1,2	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	×１、×２
	モビリオスパイク	H14／9～	GK1,GK2	後部サイド	◎、※１
	ライフ／ライフディーバ	H15／9～	JB5～8	後部サイド	◎、※６
	レジェンド　4ドア	H16／10～	KB1	後部サイド	◎
マツダ	アクセラ/アクセラスポーツ	H15／10～	BK#P系	後部サイド	◎
	アテンザハッチバック	H14／5～	G##P系	後部サイド	◎
	アテンザスポーツ	H14／5～	G##S系	後部サイド	◎
	アテンザワゴン	H14／5～	G##W系	後部サイド	◎
	デミオ	H14／8～	DY系	後部サイド	◎
	プレマシー	H17／2～	CREW、CR3W	2列目サイド	◎
			F50系	3列目サイド	◎
	ベリーサ	H15／6～	DC5W、DC5R	後部サイド	◎
	RX-8	H15／3～	SE3P	後部サイド	×１８
	MPV8人乗り	H18／2～	LY3P	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎、※１

メーカー名	車種名	年式	型式	調査座席	適合情報
ミツビシ	アウトランダー	H17／10～	CW5W	後部サイド	◎
	グランディス6人乗り	H15／5～	NA4W	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎、※１
	コルト	H14／11～	Z2#系	後部サイド	◎
	コルトプラス	H16／10～	Z23W、Z24W、Z27W	後部サイド	◎、※１
	デリカスペースギア7人乗り	H6／5～	PA#W系PF#W系	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎、※１
	デリカスペースギア8人乗り	H6／5～	PA#W系PF#W系	2列目サイド	◎、※１
				3列目サイド	◎、※１
	パジェロ　ショート	H18／10～	V87、V83	後部サイド	◎、※１
	パジェロミニ	H10／10～	H53A,H58A	後部サイド	×１、×４
	ランサー	H15／2～	CS2A、CS6A,CS5A	後部サイド	◎
	ランサーエボリューションワゴン	H17／9～	CT9W	後部サイド	◎
	ランサーワゴン	H15／2～	CS2W,CS5W	後部サイド	◎
	EKワゴン／スポーツ	H18／9～	H82W	後部サイド	◎、※１
	I(アイ)	H18／2～	HA1W	後部サイド	◎
スバル	インプレッサ　セダン	H12／8～	GG系	後部サイド	◎
	インプレッサ　ワゴン	H12／8～	GD系	後部サイド	◎
	ステラ	H18／6～	RN1,RN2	後部サイド	◎、※１
	フォレスター	H14／2～	SG系	後部サイド	◎
	レガシー　ワゴン	H15／5～	BP系	後部サイド	◎
ダイハツ	アトレイ	H11／6～	S220,S230系	後部サイド	◎、※１
	エッセ	H18／1～	L235S	後部サイド	◎
	ソニカ	H18／6～	L405S	後部サイド	◎
	タント	H15／11～	L350S	後部サイド	◎、※１、※７
	ブーン	H16／6～	M300S、301S	後部サイド	◎、※１７
	ミラアヴィ	H14／12～	L250S、L260S	後部サイド	◎
	ミラジーノ	H16／11～	L650G	後部サイド	◎
	ムーブ	H18／10～	L175S	後部サイド	◎、※１
	ムーブラテ	H16／8～	L550S	後部サイド	◎、※１
スズキ	アルト	H16／9～	HA24S	後部サイド	◎
	エブリィ	H11／1～	DA52W,DA52V,DB52V	後部サイド	×１
	エブリィワゴン	H17／8～	DA64W、64V	後部サイド	◎、※１
	ジムニー	H10／10～	JB23W系	後部サイド	×１５
	ラパン	H14／1～	HE21	後部サイド	◎、※１
	ワゴンR	H15／9～	MC22S、MH21S	後部サイド	◎
	MR　ワゴン	H13／12～	MF21S	後部サイド	◎
	SX4	H18／7～	YA11S、YB11S、YA41S、YB41S	後部サイド	◎

これら以外の車種でも対応することがあります。
ご不明な方は、当社サービス係またはチャイルドシート販売店にご相談ください。